

東光寺たより 23

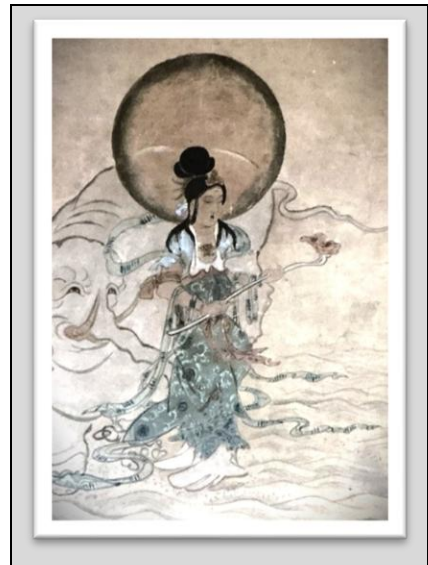
棚経へと参ります ♪

施餓鬼無事に円成しました ♪



さる 12 日に恒例の施餓鬼會が勤まりました。大勢のお参りが有り、有り難かったのはもちろんの事、手伝って下れた当番さん。行事一つをこなしていくことの大事さや難しさ等実感する事が出来ました。まずは無事に終わって安堵したのであります。

ありがとうございました ♪



座禅会に思う ♪

毎月 15 日は当山の座禅會の日です。朝 5 時から自分の為に座られる会員さん達。この日は終戦記念日でもあり今在る平和を感じつつ自らを奮い立たせる“勇猛心”を込めて座ってもらえたらなと。加えて日々の生活や仕事に座禅で培ったスキルを生かせてもらえるように。”勇猛”とは勇ましさを表す素敵な言葉であるが敢えて日々の工夫に生かせていけるようにとお伝えしました。



棚経の風景①

いつも良くして頂いている当家へとお参りに行くとネコちゃん達がお出迎えしてくれます。そしてお仏壇の裏にもおいでて、お経中にヌッと出てくる”しろ丸君”(=^・^=)まさかお仏壇の裏からネコ出てくるもんですから驚いたのなんのって。こうして今年も無事にお参りする事が出来ました。また来ますねえー(=^・^=)



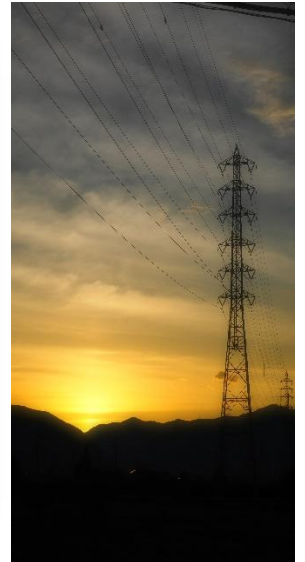
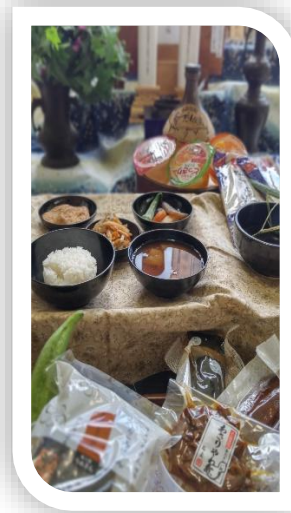
中陰和讃に思う♪

初盆を迎える当家での一コマ♪お父さんが亡くなって中陰和讃を読む時に、その内容に涙を流したと述懐される当家は無事にお父さん極楽浄土へと辿り着いたろうか？とボツリ..そんな時、当家によって救われた命や事例が多々有りますよ。だから絶対お父さんは無事に49日の閼門を潜られてゆかれたと想像に難くない。私も当家によって救われた感、生かさせていただいております。私がこうやって生かされておりますに、亡くなったお父さんが供養出来ていない訳が有りませんと。転じて物事を考えるに全く正反対の事を考える事も実際可能すよね。救われていない、供養出来ていないと..ですがこう考える事によって故人の生きてきた意味が無になってしまうのではなからうかと想えてならないのです。必ずや、あちらでも穏やかに過ごしてもらっていると、あるか？ないか？を問うではなく必死で生き抜いた人の行きつく先が空っぽ、虚しいとしたらそれはそれで悲しい。だからこうやって無事に辿り着いたと強く願ってもらえたらと思うのでありました。トキに盆モクライマックスを迎えんと...

帰命頂礼ありがたや

中陰和讃の心得は 三尊弥陀の教えなり

死して浄土へ赴かば 七つの閼所ありと聞く



竹の音でお盆の光景を色鮮やかに♪

お盆のお参りと並行して数件、法事を頼まれる事も有る当山住職は出来うる限り、当家の願いに沿うようにやり繰りしております。此度は家族全員で集まるのでお母さんの法事を願いますと。その時に尺八をお願いしますと。いつもと変わらぬ竹の音がお盆の情景を色濃く残したイットキでした。



ありがとうございました♪

文貴 “東光寺” 英隆